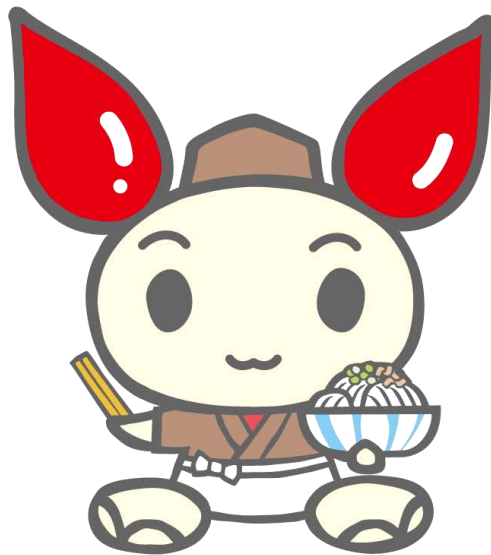


令和5年度

事業年報



香川県赤十字血液センター

目次

1	一年の動き	2
2	各部門の動き	
1.	献血推進部門	4
2.	採血部門	5
3.	供給部門	7
4.	学術情報部門	10
5.	品質情報部門	12
6.	献血ルーム	13
3	資料	
1.	施設概要	14
2.	組織概要	16
3.	献血状況	17
4.	供給状況	19
5.	表彰状況	20

1 一年の動き

令和5年4月

- ・東京リベンジャーズコラボキャンペーン：献血ルーム（3/1～4/30）
- ・予約キャンペーン：献血ルーム（3/20～4/7）
- ・平日限定400mL献血予約キャンペーン：献血ルーム（4/10～4/28）

令和5年5月

- ・第71回日本輸血・細胞治療学会学術総会：千葉、WEB開催（5/10～5/13）
- ・全国赤十字大会：東京（5/18）

令和5年6月

- ・世界献血者デーキャンペーン：献血ルーム（6/1～6/30）
- ・SNS広告キャンペーン：献血ルーム（6/12～6/30）

令和5年7月

- ・中国四国学生統一献血キャンペーン（サマーキャンペーン）：高松市（7/1～9/30）
- ・小学生・中学生親子血液センター見学教室：高松市（7/22～24・30）
- ・平日献血予約キャンペーン：献血ルーム（7/24～8/10）
- ・第59回献血運動推進全国大会：千葉（7/26）
- ・令和5年度献血運動推進全国大会厚生労働大臣表彰状及び感謝状等伝達式：香川県庁（7/27）

令和5年8月

- ・令和5年度香川県造血幹細胞移植推進協議会：WEB併用（8/3）
- ・高校生街頭献血キャンペーン：高松市（8/6）
- ・コミックマーケット102献血応援イベント：献血ルーム（8/12～9/30）
- ・香川県高校生献血ボランティアネットワーク血液センター見学会：高松市（8/17）
- ・平日限定400mL献血予約キャンペーン：献血ルーム（8/21～9/15）

令和5年9月

- ・香川県総合防災訓練：高松市（9/3）
- ・職場体験：高松市（9/7～8、12～13）
- ・第67回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会：徳島、WEB開催（9/10）
- ・SPY×FAMILYタイアップキャンペーン：献血ルーム（9/12～11/10）
- ・大規模地震時医療活動訓練：高松市（9/30）

令和5年10月

- ・第47回日本血液事業学会：愛知、WEB開催（10/3～10/5）
- ・大型自動車研修：高砂市（10/12～10/13）
- ・ハロウィンキャンペーン：献血ルーム（10/16～10/31）
- ・緊急自動車研修：高砂市（10/24～10/25）
- ・第30回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム：長崎、WEB開催（10/26～10/27）

令和5年11月

- ・400mL献血予約キャンペーン：献血ルーム（11/1～11/30）
- ・香川県石油コンビナート総合防災訓練：坂出市（11/2）
- ・日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練：愛媛県（11/11）
- ・合同輸血療法委員会：香川大学医学部附属病院（11/11）
- ・SPY×FAMILYタイアップキャンペーン：献血ルーム（11/14～12/31）

令和5年12月

- ・全国学生クリスマス献血キャンペーン2023：高松市（12/1～12/25）
- ・クリスマス献血キャンペーン：献血ルーム（12/16～12/25）

令和6年1月

- ・若年層献血予約キャンペーン：献血ルーム（1/1～1/31）
- ・高松市民献血の日記念キャンペーン：献血ルーム（1/6～1/8）
- ・はたちの献血キャンペーン：献血ルーム（1/8～2/29）
- ・令和5年度中四国ブロック内血液センター災害対応訓練（1/18）
- ・赤十字血液シンポジウム：香川（1/20）

令和6年2月

- ・中国・四国地方限定ラブラッド献血予約キャンペーン：献血ルーム（2/1～3/31）
- ・10代・20代献血キャンペーン：献血ルーム（2/1～2/29）
- ・高松市民献血の日記念キャンペーン：献血ルーム（2/3～2/4）
- ・若年層献血予約キャンペーン：献血ルーム（2/9～3/7）
- ・香川県血液対策協議会：香川県庁（2/15）

令和6年3月

- ・高松市民献血の日記念キャンペーン：献血ルーム（3/2～3/3）
- ・SANUKI ROCK COLOSSEUM 2023ブース出展：高松市（3/23～24）

2 各部門の動き

1. 献血推進部門

医療に欠かすことのできない輸血用血液は、まだ人工的につくることができません。また、長い期間にわたって保存することもできません。そのため、輸血に必要な血液を安定的に確保する必要があります。

2023年度は新型コロナウイルスが5類に移行し、献血活動の再開が期待されましたが、若年層献血者については、新型コロナウイルス感染症流行前の状況までには、まだまだ戻らない現状です。

2023年度の香川県の献血者は、公共団体機関及び献血推進団体等の協力を得て、36,752人となりました。（前年度比97.6%）移動採血車は322台配車し、18,259名のご協力をいただきました。献血ルーム『オリーブ』では362日開所し、18,493名に献血のご協力をいただきました。

日本赤十字社と献血者の皆様をつなぐための献血WEB会員サービス『ラブラッド』には1,623名に入会いただきました。



<献血推進団体や学生による街頭での呼びかけ>

少子高齢化が年々進んでいくなか、若年層による献血が将来への安定供給には必要不可欠となります。2023年度も引き続き、10代の献血者確保に取り組んでまいりました。コロナ禍ということもあり、学域献血の実施が制限されるなどもありましたが、1,565名に献血へのご協力をいただきました。（前年度比107.6%）

また、4年振りに「小学生・中学生親子血液センター見学教室」を行いました。この見学会は、献血に対する興味関心を引き出すとともに、夏季休暇中の自由研究に役立つことを目的としています。7月22日・23日・24日・30日の4日間、計7回行い、児童201名、保護者163名と多くの方々に参加いただきました。



<献血バス内で採血について説明中>



<実物を手に取ってみたいよう>

2. 採血部門

1. 教育システム

(1) キャリア開発ラダー

血液事業に携わる専門職業人としての知識・技術を高め、自律した看護師を育成することを目的とし令和元年より「赤十字血液センター看護師のキャリア開発ラダー」を導入しています。組織的な教育体制を確立し、個々の成長段階に応じた教育支援が行える体制を整えています。現在キャリア開発ラダー「レベルⅠ」を6名（内3名は病院にて取得）が取得しています。

(2) 学会認定・アフェレーシスナース制度

成分採血装置を用いて血小板と血漿を採血するアフェレーシスを行っています。アフェレーシスナースとは成分採血の知識、技術の向上、成分採血の指導者としての活躍を期待した学会認定制度です。香川センターは、8名の看護師が学会認定・アフェレーシスの資格を取得し、成分採血業務に従事し成分採血の知識・技術の向上や課員の指導を行っています。

(3) ドナーケアのスペシャリストの育成

献血者の個別性を捉え察知し献血者の満足を得るとともに、採血副作用において予期しない事象が発生した場合は自ら解決し、献血者へ適切かつ迅速なケアができるよう、採血副作用に関する専門看護師を育成する目的で令和3年度よりドナーケアのスペシャリストの育成が行われています。対象者は、血液センターの採血実務経験3年以上、採血副作用発生時にリーダーシップを発揮し、職員に適切な指示ができる看護師です。評価基準は採血副作用、脳疾患、循環器疾患、献血者健康被害救済制度、看護倫理、一次救命処置等の研修後に筆記試験とレポート提出です。令和5年度は1名が研修会に参加しました。現在7名がドナーケアのスペシャリストとして採血現場で看護実践や指導を行っています。

2. 新型コロナウイルス感染症

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症に変更となりました。新型コロナウイルス感染症対策として使用していたアクリル板は撤去しましたが、職員の健康チェック、手洗い、手指消毒の徹底、献血会場の消毒及び清掃、来所者全員に対する体温測定は継続して実施し安心安全な献血会場の運営に取り組んでいます。献血者受け入れの対応が令和5年12月22日より新型コロナ感染症既感染者の献血延期期間が4週間から2週間に緩和されました。

3. 全献血者希望者を対象にした体重測定開始

献血者の保護及び血液の安全性を確保するために全献血希望者に対し体重測定を実施することになりました。献血ルームオリーブでは令和5年5月1日から、移動採血では令和5年9月1日から体重測定を開始しました。



4. 献血ルームの採血ベッド更新

献血ルームオリーブの採血ベッドが10年以上使用し、経年劣化が進んだため5台を更新しました。

新しいベッドは献血者がリラックスして過ごせるようリクライニング調整ができ、オリーブをイメージした色調にしました。



3. 供給部門

1. 学術情報・供給課の動向

令和5年度は直近30年において、もっとも輸血用血液製剤の供給が少ない年となりました。輸血用血液製剤には有効期限が存在することから、計画的な血液確保のための学術係・供給係の連携による血液製剤の使用動向情報の把握、中四国ブロック内における効率的な血液製剤の供給に努めてきました。

また、5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行されましたが、学術情報・供給課は輸血用血液製剤の供給のために日々県内の各医療機関を訪問していることから、感染対策として引き続きマスクの着用・アルコール消毒を徹底しています。

①第68回 日本輸血・細胞治療学会 中国四国支部例会（9月9日）

島根県において、現地及びWebによるハイブリッド開催方式での実施となりました。特別講演として、京都大学 iPS細胞研究所の副所長である江藤 浩之先生が「50年後に成功する製造基盤と何か？」というテーマで講演されました。

②令和5年度 赤十字血液シンポジウム【中四国ブロック】（1月20日）

香川県 かがわ国際会議場を会場として実施いたしました。「輸血療法トピックス」をテーマに、倉敷中央病院 副院長の上田 恭典先生による「血液疾患診療、血液治療の現況から今後の輸血需要を考える」等、4つの講演が行われました。

③輸血合同療法委員会（11月11日）

新型コロナウイルスの影響で令和元年から中止となっていた輸血合同療法委員会を4年ぶりに開催いたしました。香川県内の医療機関15施設が参加し、各医療機関の活動報告をはじめとして、各医療機関や血液センター間での情報交換が行われました。

④輸血懇話会（2月17日）

輸血合同療法委員会と同様、新型コロナウイルスの影響で中止となっていた輸血懇話会を4年ぶりに開催いたしました。香川県内の医療機関24施設を対象に、香川県内の血液製剤供給状況や最新のヘモビジランス（血液安全監視）について講演を行いました。

⑤中四国ブロック内血液センター 自動車運転研修会（10月24日～10月25日）

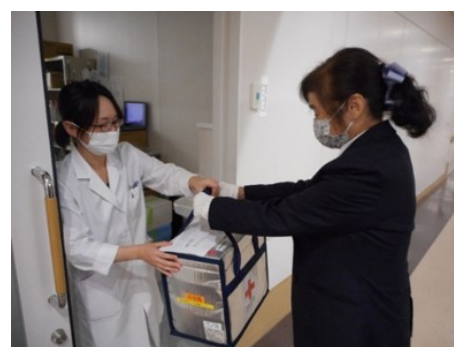
中四国ブロック血液センターが開催する9県合同の自動車運転研修会について、緊急自動車研修に学術情報・供給課から1名が参加しました。今年度から学術情報・供給課に配属となった職員であり、本研修を通して、自動車運転の安全意識や緊急走行の重要性について学びました。



<中四国ブロック内血液センター自動車運転研修会>

⑥小豆島地区医療機関への緊急輸送訓練（12月5日）

災害時及び夜間の緊急輸送対応のために隔年で海上タクシーを利用した緊急輸送訓練を行っています。人事異動で学術情報・供給課の職員が多く入れ替わったこともあり、手順を確認することを目的に緊急輸送訓練を実施しました。



<小豆島地区医療機関への緊急輸送訓練>

2. 輸血用血液製剤の供給状況

令和5年度の供給実績は、赤血球製剤50,592単位（対前年度比94.9%）、血漿製剤12,346単位（対前年度比80.3%）、血小板製剤49,980単位（対前年度比78.1%）、計112,918単位（対前年度比85.1%）でした。

3. 供給体制の検討について

①輸血用血液製剤WEB受注率

令和元年からインターネットによる輸血用血液製剤の受注が始まっています。本システムを運用している医療機関は令和4年度末の96施設から令和5年度末にかけて113施設まで増加しており、近年において輸血用血液製剤を使用したことのある医療機関のほぼ全てにご登録いただいています。令和6年4月の全面移行を前に、各医療機関に積極的に説明を行ってきた成果だと考えています。

②輸血用血液製剤定時配送便率

輸血用血液製剤は、緊急の場合を除き、1日2回の定時配送便による納品を行っています。令和5年度の定時配送便率は84.2%であり、日本赤十字社血液事業本部が示した目標である80%を達成することができました。これは院内の在庫管理をはじめ、定時配送便での納品に理解をいただいた各医療機関のご協力によるものです。

4. 次年度に向けて

輸血用血液製剤の安定供給を継続して遂行するため、今年度に引き続き、香川県赤十字血液センター各課・各県赤十字血液センターと連携して血液事業を推進していきます。

また、業務に必要となる輸血学を含む医学的知識にかかる研修を実施して職員の意識向上を図るとともに、緊密な情報提供等を行うことで各医療機関とより強固な信頼関係を築けるよう努めていきます。

4. 学術情報部門

医薬情報活動の概要（令和5年度：2023年度）

医療機関に供給された血液製剤は、必要な情報（品質・有効性・安全性等）が付加されてはじめて適正に使用されます。その情報を「医療関係者に提供し、使用された情報を収集し、適切に分析・評価された結果を医療関係者へフィードバックする」これら一連の役割を担っているのが医薬情報担当者（MR：Medical Representative）で、学術情報・供給課学術係がその業務を行っています。いわば医療のパートナーとして訪問活動をしており、なかでも、輸血に伴う副作用・感染症自発報告症例を医療関係者から情報収集し分析・評価することは、血液製剤の安全対策にも反映される重要な業務と位置付けられています。また、血液製剤の取り扱いに関する問い合わせの対応や医療従事者への説明会を実施することで、有限で貴重な血液製剤を適正に使用していただくよう活動しています。

医療機関への情報提供

2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、医療機関への訪問規制等が次第に解除されてきました。訪問時の情報提供や電話、メールの情報提供に加えて、コロナ禍で導入されたオンラインツールを利用し情報提供、情報収集を行いました。また、説明会についてもオンライン説明会、医療機関用動画配信等を実施しました。

輸血用血液製剤に関する情報提供については、下表のとおり情報媒体を医療機関へ配布しました。併せて、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を開催しました。

輸血情報・お知らせ文

発行年月	内容
令和5年5月	輸血用血液製剤の取り扱いマニュアル（2023年5月改訂版）
令和5年7月	血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン（令和4年5月一部改正）
令和5年8月	輸血情報 2308-180 「輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2022年-」 輸血情報 2308-181 「赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2022年-」
令和5年11月	新記載要領に基づく輸血用血液製剤の電子化された添付文書改訂のお知らせ
令和6年2月	「Haemovigilance by JRCS 2022」ホームページに掲載するお知らせ

説明会

開催年月日	内容	開催機関
令和5年5月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	K病院
	輸血用血液製剤の取り扱いについて(Web)	M病院
令和5年6月～ 令和6年1月	輸血に関するWebセミナー&意見交換会 (全3回)	徳島・香川・高知県内医療機関
令和5年7月～ 令和6年1月	輸血に関するWebセミナー&意見交換会 (全3回)	県内医療機関
令和5年7月～ 令和6年2月	初級者向け血液センターWebセミナー (全12回)	県内医療機関
令和5年10月	令和5年度輸血用血液製剤に関する勉強会	県内医療機関
令和6年2月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科
令和6年3月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科
	輸血に関するWebセミナー	徳島・香川・高知県内医療機関
	輸血に関するWebセミナー	県内医療機関

5. 品質情報部門

品質情報課では、献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応える持続可能な血液事業の基盤を確立するための4つの品質方針を基に、全国どこでも、同じ品質の血液製剤が提供され、また更に品質が向上することを目指して活動しています。

品質方針

献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応えるため、
関係法令等を遵守し持続可能な血液事業の基盤を確立する

- 1 行政、医療関係者、教育関係者らと連携して、医療を支える献血文化を次世代に引き継ぎます。
- 2 献血者から信頼される採血、適切な検査・製造体制により、患者に安心、安全な血液製剤を提供します。
- 3 行政、医療機関等と連携し、適切な供給体制を実現します。
- 4 献血から供給に至る、各業務間の情報共有・連携を強化して、的確・効率的な事業運営を推進します。

令和5年7月1日

血液事業本部長 紀野 修一



6. 献血ルーム

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症への移行に伴い献血ルームではイベントの再開がありました。

7月に一日血液センター所長行事、9月～11月に高松市立中学校の職場体験学習、12月に四国医療福祉専門学校の学生ボランティアの呼びかけによるクリスマスキャンペーンなどを行いました。

また、土日祝を中心に月4回程、骨髄バンク説明員の方が来られて骨髄バンクについて説明をしてくれるドナー登録説明会を実施しました。

令和5年度の献血ルームオリーブ献血者数は延べ18,493人となっており、そのうち若年層献血者は年々減少傾向にあることから、将来にわたり輸血用血液製剤の安定供給を維持するために、若年層献血者の確保が急務とされています。

今後も若年層の方に献血の重要性を知っていただく機会を増やし、普及啓発を図ることを継続して取り組んでいきたいと考えています。

<職場体験学習>



<一日血液センター所長行事>



<クリスマスキャンペーン>



3 資料

1. 施設概要

1) 香川県赤十字血液センター



所在地	香川県高松市郷東町字新開587番地1
敷地	3,300.14m ² (県有地・無償貸与)
建物	延床面積2,778.6m ² (1987年(昭和62年)3月20日竣工)
移動採血車	3台

1階平面図



3階平面図



2階平面図



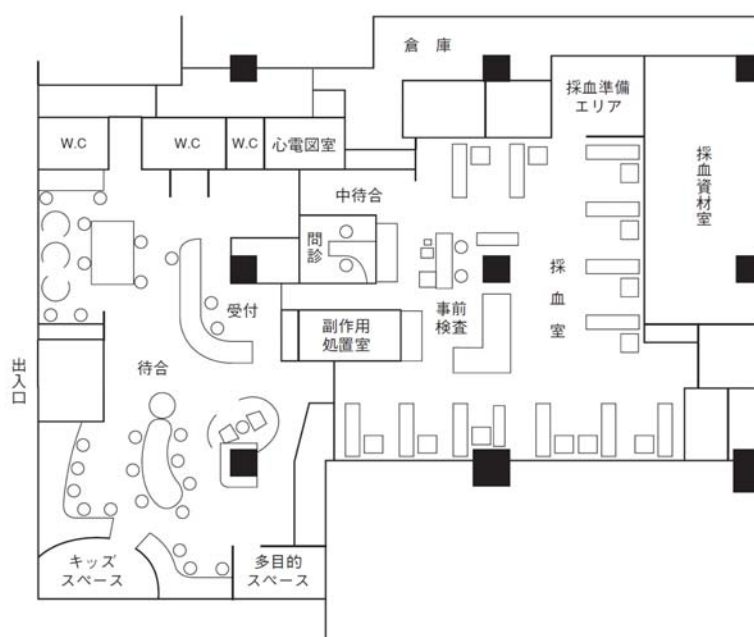
4階平面図



2) 丸亀町出張所



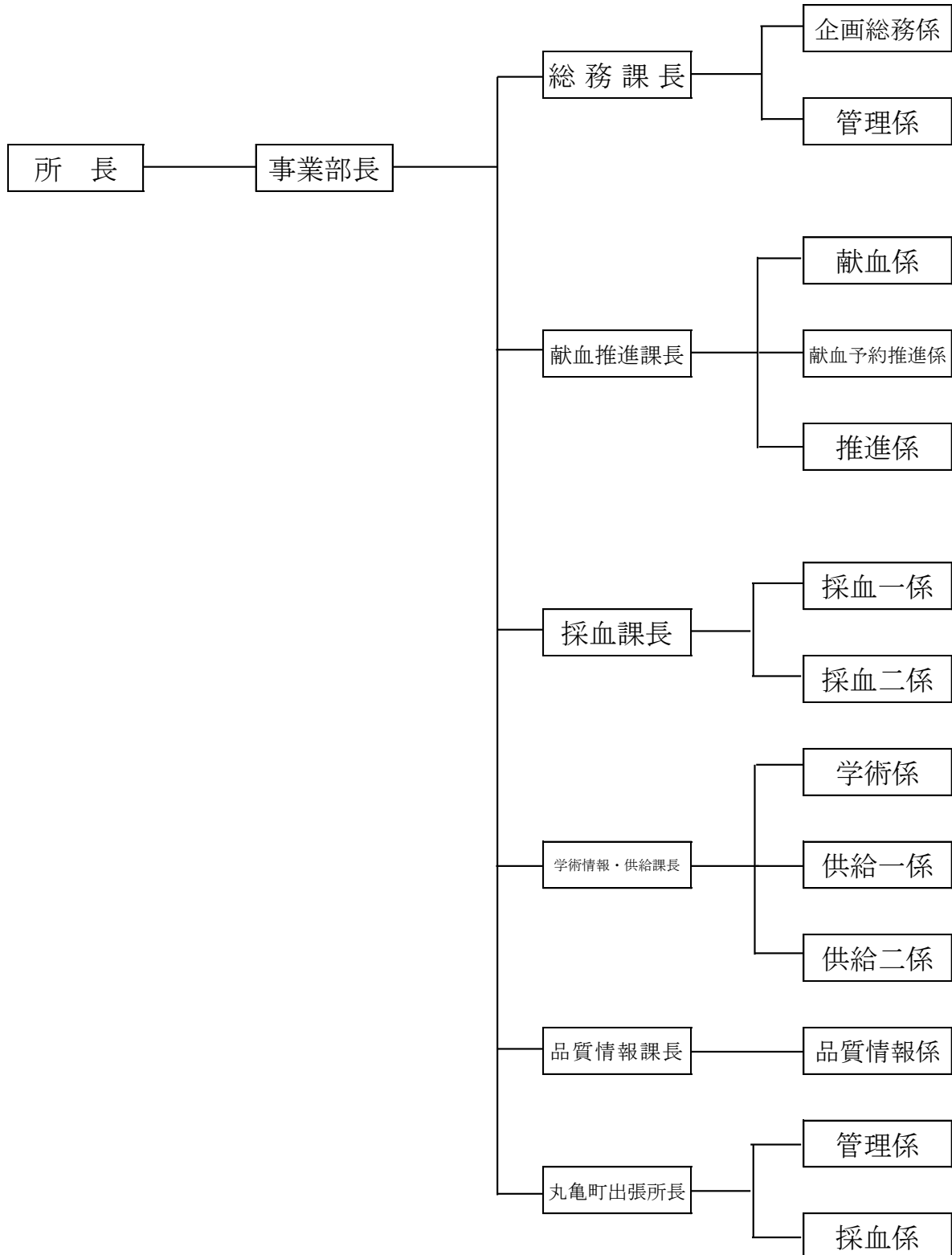
所在地	香川県高松市丸亀町13-3 高松丸亀町参番街東館3階
建物	延床面積491.33㎡（民間ビル賃貸）（2011（平成23年）年4月5日に移転）
採血ベッド	10台



2. 組織概要

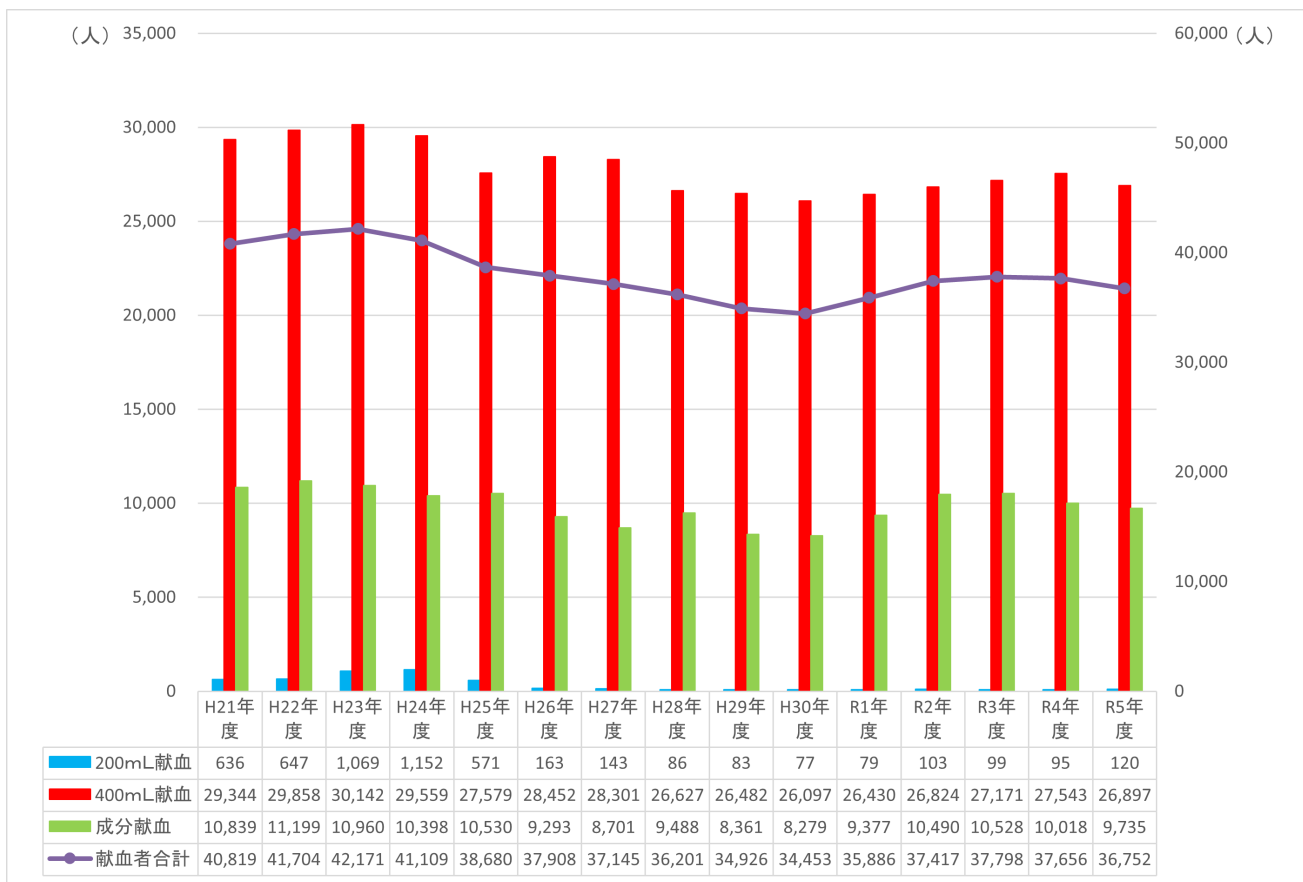
令和5年4月1日現在

組織	1部5課11係、1出張所2係
職員数	65名（正職員39名、常勤嘱託職員9名、常勤臨時職員3名、非常勤職員14名）

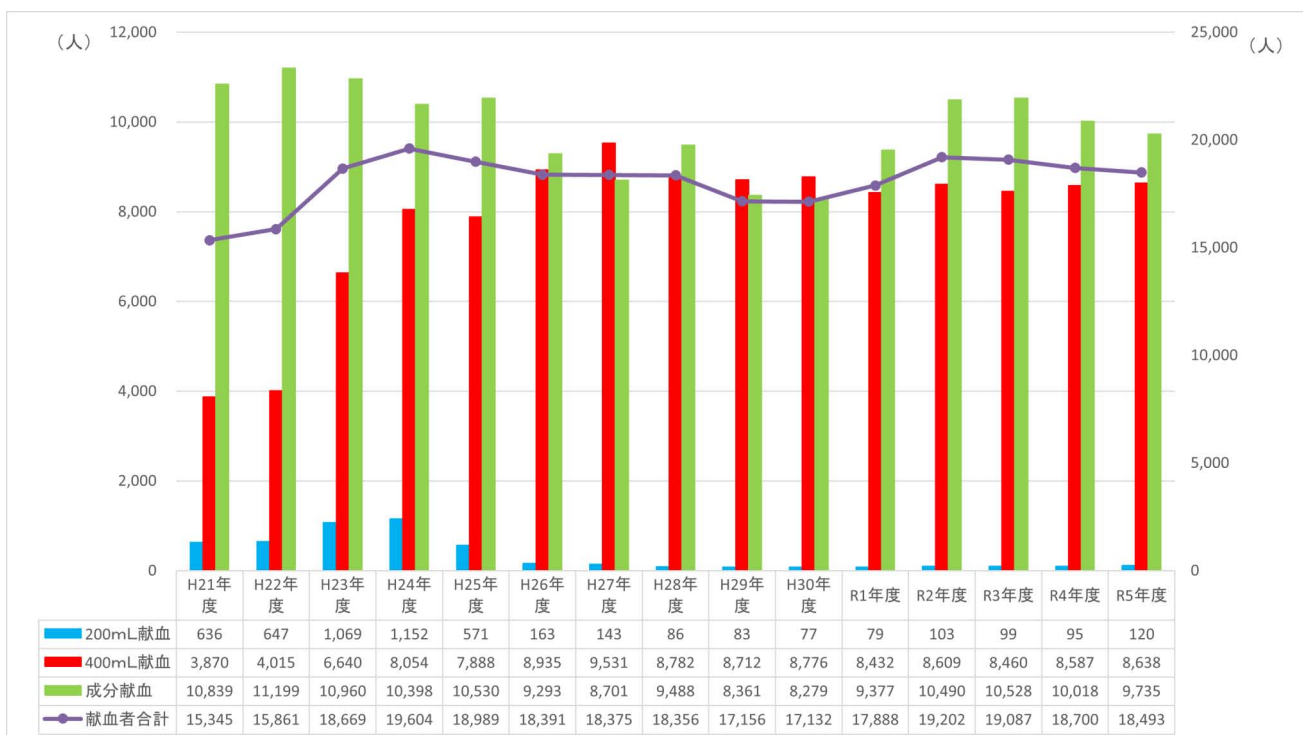


3. 献血状況

1) 香川県 年度別献血数（平成21年度～令和5年度）



2) 献血ルーム（平成21年度～令和5年度）



3) 年代別献血者数 (平成21年度～令和5年度)



4) 性別、年齢別、職業別献血者数 (令和5年度)

性別、年齢別、職業別献血者数調

区分	16-19		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	21	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	99	120
400mL献血	1,066	329	2,423	1,030	3,051	913	4,604	1,565	6,004	2,035	2,941	936	20,089	6,808	26,897
血漿成分献血	18	21	241	179	593	243	1,264	471	2,099	597	1,151	181	5,366	1,692	7,058
血小板成分献血	11	0	160	3	311	0	746	1	1,076	0	369	0	2,673	4	2,677
合計	1,116	449	2,824	1,212	3,955	1,156	6,614	2,037	9,179	2,632	4,461	1,117	28,149	8,603	36,752

(人)

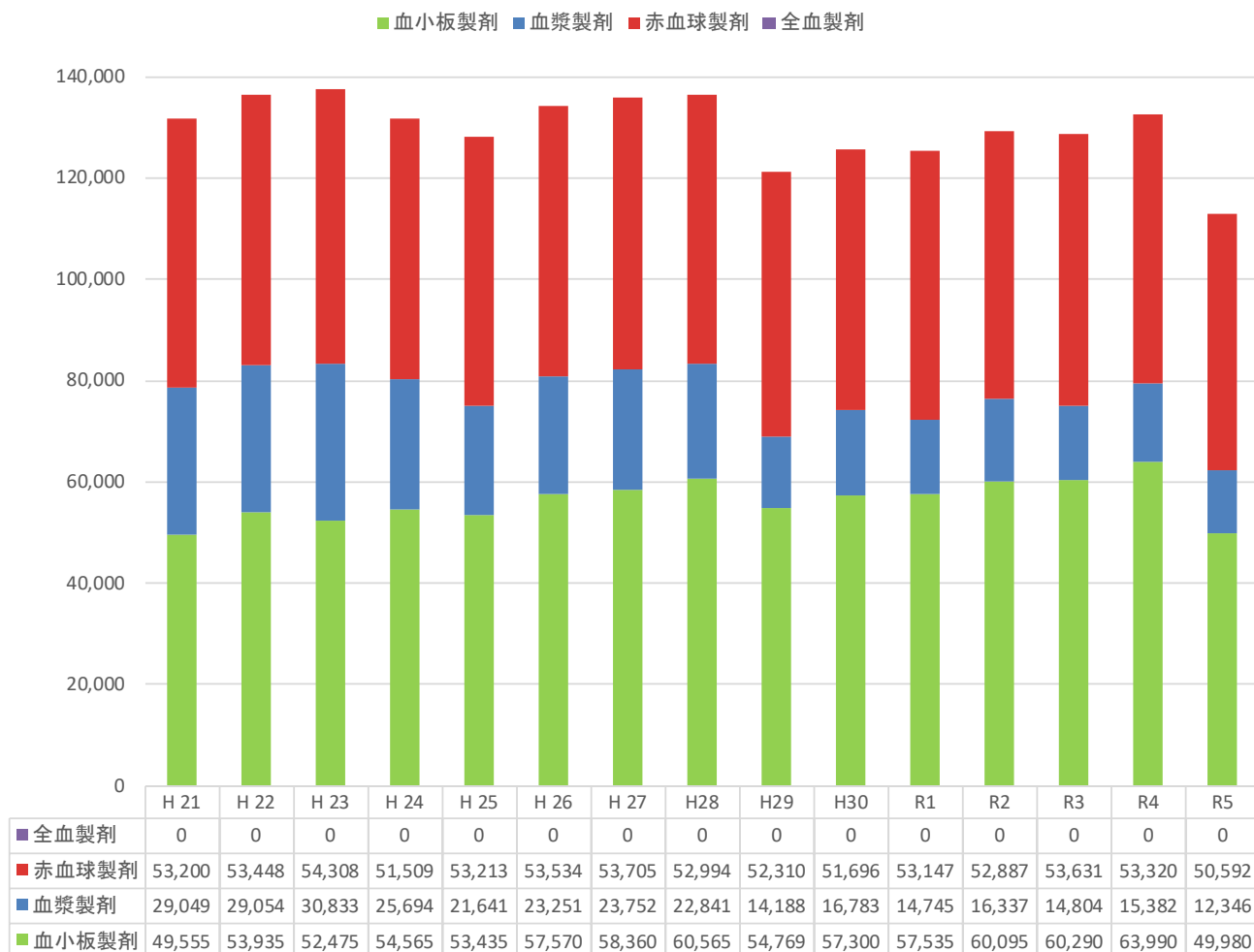
区分	公務員		会社員		学生				その他		合計		
	男	女	男	女	高校生		その他		男	女	男	女	計
					男	女	男	女					
200mL献血	1	0	0	0	20	99	0	0	0	0	21	99	120
400mL献血	3,649	746	12,489	2,974	526	106	960	465	2,465	2,517	20,089	6,808	26,897
血漿成分献血	974	111	3,122	792	4	4	64	56	1,202	729	5,366	1,692	7,058
血小板成分献血	348	0	1,664	4	0	0	42	0	619	0	2,673	4	2,677
合計	4,972	857	17,275	3,770	550	209	1,066	521	4,286	3,246	28,149	8,603	36,752

(人)

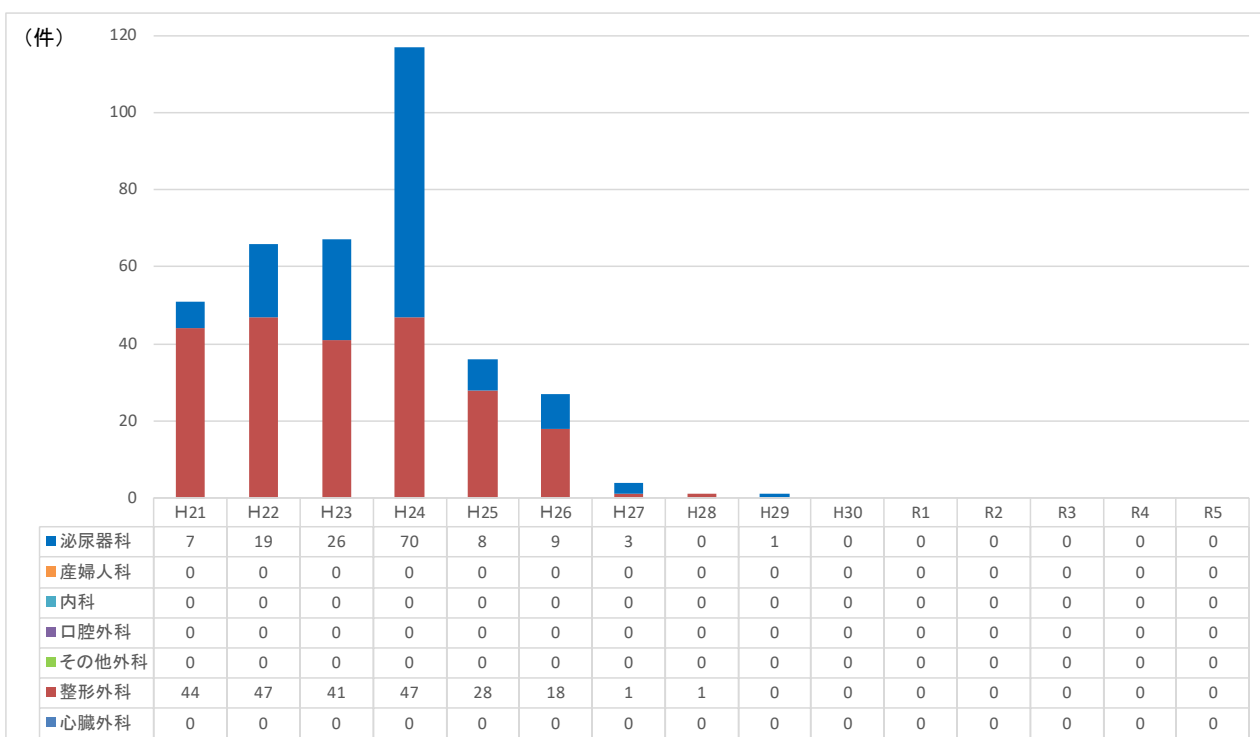
4. 供給状況

1) 香川県 年度別血液製剤別供給状況の推移 (平成21年度～令和5年度)

(単位) 160,000



2) 香川県 年度別自己血協力状況の推移 (平成21年度～令和5年度)



5. 表彰状況

1) 献血団体功労

	支部長感謝状 銀色枠 活動継続年数5年以上	支部長感謝状 金色枠 活動継続年数10年以上
東讃保健所	香川県さぬき警察署 株式会社三木山田清掃	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校 高松南警察署
小豆保健所		丸島産業株式会社
中讃保健所	マックスバリュ西日本株式会社マルナカパワーシティ善通寺店 株式会社ハローズ坂出林田店	
西讃保健所		

	銀色有功章 活動継続年数15年以上	金色有功章 活動継続年数20年以上	社長感謝状（金色有功章受賞後） 活動継続年数30年以上
東讃保健所	香川県立高松商業高等学校	香川大学医学部	株式会社日鋼サッシュ製作所
小豆保健所			
中讃保健所	大倉工業株式会社丸亀第五工場		
西讃保健所	四国電力株式会社香川支店観音寺営業所 四国電力送配電株式会社高松支社観音寺事業所		

2) 献血推進団体功労

	支部長感謝状 銀色枠 活動継続年数5年以上	支部長感謝状 金色枠 活動継続年数10年以上
東讃保健所	さぬき市建設業協会 高松グリーンロータリークラブ	香川県商工会青年部連合会
小豆保健所	香川県建設業協会小豆支部	
中讃保健所	公益社団法人坂出青年会議所	
西讃保健所		

	銀色有功章 活動継続年数15年以上	金色有功章 活動継続年数20年以上	社長感謝状（金色有功章受賞後） 活動継続年数30年以上
東讃保健所	高松東ライオンズクラブ		一般社団法人生命保険協会香川県協会
小豆保健所			
中讃保健所			
西讃保健所		観音寺ライオンズクラブ	

